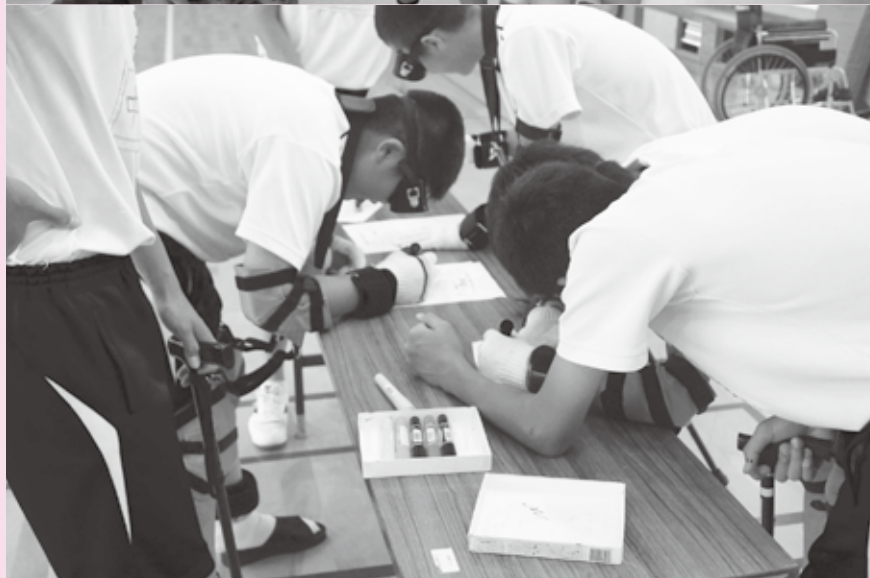




社協だより

ほほえみ

No.52

2018年7月1日

福祉体験学習(三加和中3年・菊水中央小4年)の様子です。それぞれの体験を通して、たくさんの学びがありました。詳しくは、P3をご覧ください。

P 2	■ 平成29年度 事業報告・収支決算
P 3	■ 福祉体験学習～三加和中学校&菊水中央小学校～
P 4	■ サマーチャレンジ～児童デイサービス&ワークキャンプ～
P 5	■ 和水町ボランティアセンターよりお知らせ
P 6	■ ふれあい・いきいきサロンをはじめませんか?
P 7	■ お茶の間筋トレ体操教室
P 8	■ 香典返し・心配ごと相談等事業

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会

TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

私たちにできること！ ～福祉体験学習～三加和中学校&菊水中央小学校～

5月23日（水）に三加和中学校3年生（22名）を対象に、車椅子&高齢者疑似体験。また、6月6日（水）・13日（水）・15日（金）に菊水中央小4年生（27名）に、車椅子&高齢者疑似体験と点字体験・手話体験をそれぞれ実施しました。

中学校では、社協職員の指導の下、基本的な車椅子の操作や声掛けの仕方など、介助する側・介助される側の立場をそれぞれ体験していただき、それぞれの気づきや発見があったようでした。中学生として過ごす日常生活とは異なる体験を通して、相手に対する考え方や自分の行動について考える機会となりました。

次に、小学校では、職員の他にゲストティーチャーをお招きし、点字体験では石原吉朗さん、手話体験では隈部美美さんからそれぞれ普段の生活の様子や体験談について語っていただきました。小学生は、まずそれぞれの世界を知る事から始まり、当事者の方や関係者の方からお話を聞くことで、障がいがあることが特別ではないということを理解出来たと思います。

今回の体験を通じて、福祉の仕事・ボランティアについて興味・関心を持っていただければと思います。社会福祉協議会では、体験セットの貸出や福祉教育等に関する出前教室も行っています。学校や各種団体で希望される場合は、事務所（☎0968-34-2366）までご連絡ください。お待ちしております。



体験後の感想

- ◆自分が介護する時があったら、相手の不安を和らげられるように、親切に接していきたいと思います。
- ◆疑似体験を通して、もし高齢者の方が何かに困っていると思ったら自分の出来ることをしようと思いました。
- ◆以前、祖母の車椅子の介助をしたことがありましたが、操作方法について正しく学ぶことが出来たので、今後は乗っている人が不安な気持ちにならないように優しく押したいです。

- ◆福祉体験を終えて、相手の気持ちを考えて行動することが大切だと学びました。僕は、誰にでも優しく相手の気持ちを考えることが出来るハートフルな和水町にしたいです。
- ◆障がいを持っている人や小さな子ども達が困っていたら、優しく話しかけてあげたいと思いました。
- ◆体験を通して、声をかけてもらおうと安心したので、声かけがとても必要だと感じました。

平成29年度事業報告・収支決算

平成29年度の事業報告並びに収支決算が、理事会及び定時評議員会で承認されましたので、報告いたします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

- 社協事業（抜粋）
 - 【高齢者、障害者福祉施策】
 - ・介護保険事業
 - ・訪問介護、居宅介護支援事業
 - ・障害者総合支援事業
 - 【高齢者・啓発・調査】
 - ・地域福祉に関する基本調査
 - ・社協広報誌「ほほえみ」発行
 - ・ホームページ、フェイスブック運用
 - 【高齢者支援事業】
 - ・アクティビティ認知症介護予防防教室
 - ・介護予防事業（お茶の間筋トレ体操）
 - ・ひとり暮らしふれあい招待会
 - ・ふれあいサロン事業
 - ・配食サービス事業
 - ・福祉機器貸出事業
 - 【福祉教育、ひとり親家庭支援事業】
 - ・総合的学習支援
 - ・車椅子、高齢者疑似体験など
 - ・児童デイサービス事業
 - ・ワークキャンプ（中学生福祉体験）
 - ・認知症サポーター養成講座
 - ・ひとり親一日ふれあい事業
 - 【組織強化、財源確保】
 - ・社協理事会・評議員会・監査
 - ・社協会費募集
 - ・赤い羽根共同募金運動
 - 【福祉団体事務】
 - ・民生児童委員協議会
 - ・老人クラブ連合会
 - 【その他】
 - ・日本赤十字社費募集
 - ・福祉団体助成
 - ・物品貸出事業
 - ・大学生実習受入
 - 【金銭預かり、資金貸付】
 - ・地域福祉権利擁護事業
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・福祉金庫、高額療養費貸付事業
 - 【ボランティア推進】
 - ・ボランティア活動の育成、推進
 - ・ボランティア連絡協議会との連携
 - ・ボランティア団体活動支援
 - ・災害ボランティアセンターへの職員派遣
- 【相談、各種講座等】
 - ・各種相談所開設
 - ・心配事相談、法律相談、補聴器相談
 - ・生活困窮者総合相談支援事業
 - ・なごみ生活よりそい相談センター
 - ・普通救命講習会
 - ・男性料理教室

法人単位資金収支 決算書

勘定科目（大区分）		決算額（円）
収入	【事業活動による収入】	
	会費収入	1,643,000
	寄附金収入	3,241,602
	経常経費補助金収入	35,439,832
	受託金収入	18,301,400
	事業収入	2,003,800
	貸付事業収入	289,000
	負担金収入	1,311,000
	介護保険事業収入	11,947,832
	障害者福祉サービス等事業収入	3,264,630
	その他の収入	1,065,630
支出	受取利息配当金収入	5,097
	事業活動収入計（1）	78,512,823
	人件費支出	49,461,507
	事務費支出	2,283,384
	事業費支出	16,175,936
	貸付事業支出	130,000
	共同募金配分金事業費	2,070,557
	助成金支出	390,000
	事業活動支出計（2）	70,511,384
	事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	8,001,439
	【その他の活動による収支】	
収入	その他の活動収入	0
	その他の活動収入計（4）	0
支出	積立資産支出	3,217
	その他の活動支出	2,583,240
収入	その他の活動支出計（5）	2,586,457
	その他の活動資金収支差額（6）=（4）-（5）	△2,586,457
当期資金収支差額合計（7）=（3）+（6）		5,414,982
前期末支払資金残高（8）		33,268,203
当期末支払資金残高（9）=（7）+（8）		38,683,185

貸借対照表 総括表

平成30年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額（円）	科 目	金 額（円）
【流動資産】	45,987,011	【流動負債】	7,303,826
現金 預 金	41,164,518	事 業 未 払 金	6,589,294
事 業 未 収 金	4,822,493	未 返 還 金	0
		職 員 預 り 金	714,532
【固定資産】	61,093,526	【固定負債】	38,227,428
（基本財産）	1,000,000	退職給付引当金	38,227,428
定 期 預 金	1,000,000	負債の部合計	45,531,254
		純 資 産 の 部	
【その他の固定資産】	60,093,526	【基 本 金】	1,000,000
建 物	2,417,568	基 本 金	1,000,000
車 両 運 搬 具	6	【その他の積立金】	17,895,792
器 具 及 び 備 品	285,559	福祉基金積立金	12,895,792
長 期 貸 付 金	1,267,173	施設整備積立金	3,000,000
退職給与引当資産	38,227,428	介護安定化積立金	2,000,000
福祉基金積立資産	12,895,792	【次期繰越活動増減差額】	42,653,491
施設等整備積立資産	3,000,000	（うち当期活動増減差額）	4,121,632
介護安定化積立資産	2,000,000	純資産の部合計	61,549,283
資産の部合計	107,080,537	負債及び純資産合計	107,080,537

ボランティア連絡協議会総会

5月12日(土)、和水町ボランティア連絡協議会総会を開催し、平成30年度の事業計画、収支予算、新役員の承認が可決されました。

また、山鹿こども食堂の豊田真紀様よりご講演いただき、設立の経緯や現在の活動をボランティア目線から語っていただきました。

→山鹿こども食堂
豊田真紀様による講演の様子



災害ボランティアセンター設置運営協定の締結

6月1日付けで、和水町と和水町社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定を締結いたしました。

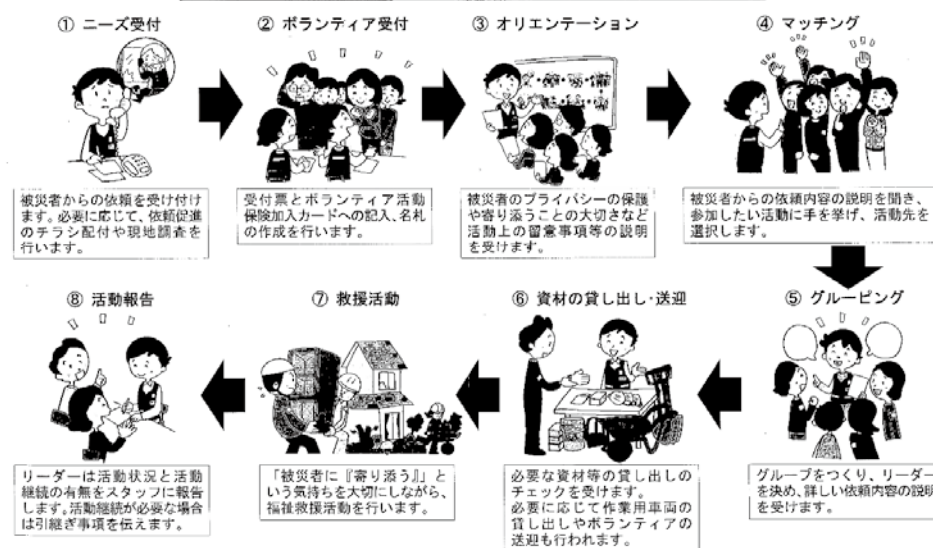
これは、災害が発生した際、必要と認められる場合に、社会福祉協議会が中心となり、災害ボランティアセンターとして災害復旧ボランティアを受け入れるセンターを設置するための協定となります。

県内外から駆けつけていただくボランティアを迅速に受け入れ、スムーズな復旧活動が展開できるよう、行政や関係機関とより一層の連携を深めていきます。

また、荒尾玉名地区や近隣社協との相互応援協定も今後視野にいれ、ボランティアセンターの機能強化に努めます。

災害ボランティアセンターってなに??

『災害ボランティアセンターにおける活動の流れ』



災害ボランティアセンターという名称は、ボランティア活動の広がりや、一昨年の熊本地震により、一般にも名称が知られるようになってきました。

甚大な災害の場合、全国各地からボランティアが駆け付けて、災害復旧や被災者の生活安定のため様々なボランティア活動が展開されます。

災害ボランティアセンターは、被災者のニーズを調査し、それらのボランティアが滞りなく現地で活躍できるよう調整を行う機能を果たします。

熊本地震では、県内各地の災害ボランティアセンターで、延 120,516 名のボランティアが被災者宅や避難所等で活躍されました。

今年の夏は...

サマチャレ!!



児童デイサービス事業 (小学生向け)

町内の小学生を対象に、下記の日程で今年も「児童デイサービス事業」を開催します。午前中は、宿題を中心に、中学生ボランティアの方に教えていただきます。

午後からは、様々な体験学習を予定しています。募集は各小学校を通して行います。

小学1年～3年生

- ◆期 日: 7月25日(水)・26日(木)
- ◆場 所: 和水町福祉センター
- ◆時 間: 午前8時から午後4時
- ◆参加費: 1日200円

小学4年～6年生

- ◆期 日: 7月31日(火)・8月1日(水)
- ◆場 所: 和水町福祉センター
- ◆時 間: 午前8時から午後4時
- ◆参加費: 1日200円

ボランティア募集!

「児童デイサービス」に関わるボランティアの方を募集します!

内容は、宿題の指導や体験学習のお手伝いなど、子どもたちと触れ合う事が大好きな**中学生・高校生・大学生・一般の方**、お待ちしております。

詳しくは、社協までお問い合わせください。[☎0968-34-2366]なお、募集人員は1日10名程度です。

ワークキャンプ事業 (中学生向け)

町内5事業所のご協力により、「中学生ワークキャンプ事業」を開催します。日程につきましては、下記のとおりとなっています。募集は各中学校を通して行います。参加状況に応じて、日程を変更することもあります。



会 場	期 日	定 員	時 間	形 態	参加費
清風苑 ～介護老人保健施設～	・ 7 月 26 日(木) ・ 7 月 27 日(金)	10名程度	9:00 ～16:00	日帰り	無料
夢路 ～グループホーム～	・ 7 月 30 日(月) ・ 7 月 31 日(火)	5名程度	9:00 ～16:00	日帰り	無料
(有)ふれあい松川	・ 7 月 23 日(月) ～ 24 日(火)	10名程度	10:00 ～翌14:00	宿泊	300円
きくすい荘 ～特別養護老人ホーム～	・ 8 月 1 日(水) ～ 2 日(木)	10名程度	10:00 ～翌14:00	宿泊	300円
和楽荘 ～特別養護老人ホーム～	・ 8 月 2 日(木) ～ 3 日(金)	15名程度	10:00 ～翌14:00	宿泊	300円

介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内54地区（社会福祉協議会実施地区33地区）で介護予防教室（お茶の間筋トレ）が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、**マッサージ**など参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。**（自主活動もあります）**
各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしています！

＜各教室の実施日＞

曜 日	月曜日	火曜日	水曜日		木曜日	金曜日
AM9:30 ～ 11:30	☆焼 米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立 石 (立石公民館)	皆行原 (皆行原公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)
	☆前 原 (前原公民館)	☆鷺 原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)	☆下津田 第 1,3,5 週 (下津田公民館)	☆志口永 (志口永公民館)	☆岩 尻 (岩尻公民館)
	江 栗 (江栗公民館)	☆中 岩 (中岩公民館)	☆上 岩 (上岩公民館)		前 野 (前野公民館)	内 田 (内田公民館)
	久米野 (久米野公民館)	板橋東 (台公民館)	下大田黒 (下大田黒公民館)		緑 (三加和公民館)	☆野 田 (野田公民館)
	西吉地 (村公民館)				☆下 岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)
	☆山十町 (橋上公民館)				中吉地 (山森公民館)	
	中十町 (集会センター)					
PM13:30 ～ 15:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本 村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	☆寺 山 (寺山公民館)	☆日 平 (日平公民館)	☆白 石 (白石公民館)
	用 木 (用木公民館)	☆古 閑 (古閑公民館)	藤 田 (藤田公民館)	北 原 (北原公民館)	☆牧 野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平 野 (平野公民館)	中 路 (中路公民館)	中 原 (中原公民館)	萩 原 (萩原公民館)	☆江光寺 (江光寺公民館)	馬 場 (馬場公民館)
	☆西 口 (平々公民館)	☆上和仁 (上和仁公民館)	☆春 富 (春富集会センター)		ロマン館	上津田 (上津田公民館)
	上大田黒 (上大田黒公民館)				☆中和仁 (鬼丸公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

和水町社会福祉協議会 理事・監事・評議員の紹介

この度、平成30年5月10日付けで4名の理事、平成30年5月29日付けで3名の評議員が新たに選任されました。
また、平成30年5月10日の理事会にて、会長に高巢泰廣理事、副会長に蒲池恭一理事が新たに選任されましたのでご報告いたします。

任 期：H29.6.22～H30.6定時評議員会			任 期：H29.4.1～H32.6定時評議員会		
区 分	氏 名	役職又は選出区分	区 分	氏 名	役職又は選出区分
会 長	☆高 巢 泰 廣	町長	評 議 員	中 村 精 也	区長会副会長
副 会 長	☆蒲 池 恭 一	議会議長	評 議 員	浦 部 一 郎	区長会副会長
理 事	☆坂 口 圭 介	健康福祉課長	評 議 員	坂 本 由 美 子	地域婦人会副会長
理 事	池 田 裕	区長会会長	評 議 員	小 木 雅 司	消防団長
理 事	☆菊 池 康 毅	老人クラブ連合会会長	評 議 員	東 隆 文	商工会代表
理 事	菊 川 ヨ リ 子	地域婦人会会長	評 議 員	下 川 直 文	民生委員児童委員協議会副会長
理 事	永 田 尚 稔	民生委員児童委員協議会会長	評 議 員	上 妻 カ ヨ 子	民生委員児童委員協議会副会長
理 事	木 原 道 代	ボランティア連絡協議会会長	評 議 員	高 木 玲	ボランティア連絡協議会副会長
理 事	小 出 正 泰	教育長	評 議 員	☆瀬 口 健	老人クラブ連合会副会長
理 事	杉 谷 く に 子	町内福祉施設代表	評 議 員	☆平 居 俊 博	老人クラブ連合会副会長
理 事	池 上 直 美	学識経験者	評 議 員	古 多 部 義 信	身体障害者福祉協議会会長
理 事	前 川 廣 一	学識経験者	評 議 員	柳 原 志 保	母子会会長
監 事	隈 部 久 美 子	学識経験者	評 議 員	岡 本 貞 三	教育委員
監 事	徳 永 壽	公民館長	評 議 員	久 保 瞳	学校長代表

☆新たに選任された理事

☆新たに選任された理事

Q 「ふれあいサロン」ってなに？

A 高齢者が気軽につどい、和める場所

地域の公民館や空き家などを利用し、地域住民の方の生きがいや健康づくり、閉じこもり防止を目的に、参加者とボランティアが一緒になって企画・運営しながら、お茶会やレクリエーションなどの活動を定期的に開催し、地域の高齢者が“気軽につどえて和める場所”のことを「ふれあいサロン」と言います。



▲十町ゆるっとふみ亭の様子

Q どこで開催するの？

A 地域の公民館や空き家など

参加者が自力で来られる範囲で、地域の公民館などの公共施設（使用の許可が取れるのであれば、地域の空き家なども可）が良いでしょう。

送迎を行う場合は参加者と送迎を行う方との間で「両者の合意（事故の場合も含めて）」が必要となります。

Q 開催回数はどれくらい？

A 無理のないペースで定期的に

特に決まりはありませんが、毎月1～2回開催されている場合が多いようです。

閉じこもり防止や仲間づくりのためには、無理のないペースで定期的に行えるのが理想的です。

ふれあい・いきいきサロンをはじめませんか？

～地域の公民館などで、みんなが“和める”場所づくり～

Q サロンってどんなことをするの？

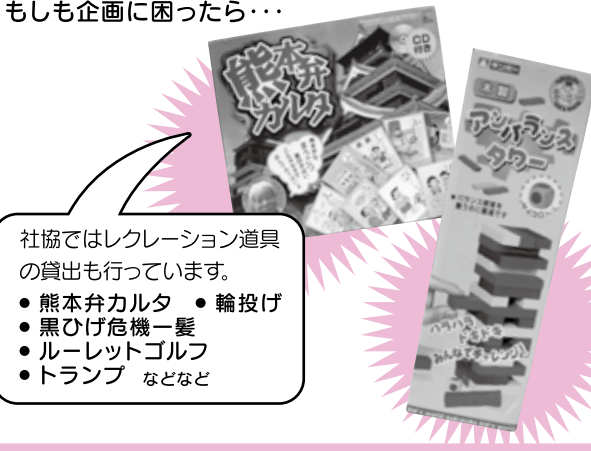
A みんなで一緒に無理のない楽しい活動を

「こうしなくてははいけない」という決まりはありません。参加者とボランティアで無理なく楽しくできる内容を一緒に考えましょう。

例えば・・・

おしゃべり・お茶会・歌・ゲーム・食事会・手芸
(小物づくりや折り紙など)・勉強会(介護予防についてなど)・ビデオ鑑賞などなど…

もしも企画に困ったら・・・



社協ではレクリエーション道具の貸出も行っています。
●熊本弁カルタ ●輪投げ
●黒ひげ危機一髪
●ルーレットゴルフ
●トランプ などなど

Q サロンはだれが運営するの？

A 参加者全員が、みんなで協力してサロンを盛り上げよう

運営の主体は様々で、ご近所の方同士やボランティア団体などで自主的に運営をしていきましょう。

サロン活動を円滑に進めるためには、世話人や代表を決めることは必要ですが、活動内容は世話人の方がひとりで考えたり準備したりする必要はありません。活動を長く続けるためには、少しずつ仲間を増やして、みんなで協力してサロンを盛り上げていくことが大切です。

Q 活動費はどこから出るの？

A 社協からの助成金もあります

経費は各自の負担が基本となりますが、和水町社協からの助成金(対象となるサロンや内容には定があります。)なども活用しましょう。

また、一回の参加費を決め、会費を管理して運営していく方法もあります。定期的に続けるためにも、みんなが負担にならないように工夫しましょう。

寄付御礼

H30年4月26日～H30年6月21日 受付分

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。
ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄 付 者	物 故 者	行政区(住所)
大 村 益 男 様	亡母) 康子	中原
大 村 出 様	亡妻) 桂子	中路
田 中 清 美 様	亡母) 松葉キミ子	本村
坂 口 宏 也 様	亡妻) 幸子	馬場
上 原 ミ チ 子 様	亡夫) 良男	板橋東
渡 辺 陽 三 様	亡父) 家敏	下吉地
福 山 和 輝 様	亡母) 絹代	下津田
山 口 ヒ ロ 子 様	亡夫) 政信	下大田黒
竹 下 幸 尚 様	亡母) 高松美穂子	寺山
江 上 孝 一 様	亡父) 栄次	江栗
高 岡 美 津 代 様	亡父) 勝	萩原
池 田 義 春 様	亡母) 春子	萩原
倉 掛 昭 様	亡母) カナミ	板橋東
山 崎 仁 子 様	亡夫) 幸男	大屋
東 直 博 様	亡母) カシコ	寺山
中 島 博 之 様	亡母) アソミ	板橋西
西 澤 則 幸 様	亡義母) 嶋田次子	久米野
牧 嶋 弘 子 様	亡夫) 継也	内田

善意寄付

下記の方々より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。
寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

- ◆高松 寿英 様 (寺山)
- ◆匿名 2件

日本赤十字社会費募集完了

～ご協力ありがとうございました～

今年度も、5月から6月にかけて、地域住民の皆様をはじめ、店舗・企業の皆様から下記のとおり社費募集にご協力いただき誠にありがとうございました。

皆様から寄せられました募金は、全額熊本県支部へ送金し、国内外の地震や災害時における救援活動や備品等の資金として活用されます。

内 訳	件 数	金 額
菊 水 地 区	1,858件	944,500円
三 加 和 地 区	1,442件	721,500円
店 舗 ・ 企 業	16件	57,000円
合 計	3,316件	1,723,000円

心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	7 月	8 月	9 月
心配ごと相談	7月13日(金) 10:00～12:00 用木公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	8月10日(金) 10:00～12:00 三加和公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	9月14日(金) 10:00～12:00 白石公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名
法律相談	7月27日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	8月24日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	9月28日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》
補聴器相談			9月21日(金) 9:00～12:00 福祉センター (有)玉名補聴器 センター対応

平成30年熊本県介護支援専門員 実務研修受講試験のお知らせ

- (1)試験日時 平成30年10月14日(日) 10時～
- (2)試験時間 120分(原則10時～12時)
- (3)試験会場(予定)
 - ・開新高等学校
 - ・九州学院高等学校
 - ・慶誠高等学校
- (4)受付期間 平成30年7月10日(火)まで
※当日消印有効
- (5)申込方法 簡易書留による郵送
- (6)申込先
〒860-0842
熊本市中央区南千反畑町3-7
県総合福祉センター 4階
社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会
- (7)受験手数料 8,500円

編集後記

先日、大学の外部講師として社会福祉士を目指す学生の皆さんの前で少しお話をさせていただきました。その資料を作成する上で、私自身改めて、この社会福祉協議会の役割・機能について見つめ直す良い機会となりました。入職して16年が経過しますが、まだまだ課題解決に向けて取り組むことは沢山あるような気がしています。他地域の事例などを参考にしながら、和水町にあって、地域福祉が展開できるようにこれから頑張っていきたいと思います。(石原)